

希少がんの高精度診断システムの開発

1. 研究の対象

2006 年 1 月～2027 年 3 月に大阪国際がんセンターで生検・手術や病理診断を受けられ、希少がんと診断された方（研究名「Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築 診療目的で採取された血液や組織の残余試料、及び研究目的の追加採血等による試料の収集と提供」で同意された方も研究の対象としています）

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

研究目的: 組織病理診断と遺伝子検査を含めた高精度の分子病理診断を同時施行した場合に、どの位希少がんの診断精度が上がるかを検証します。また、得られた情報を基にした効率的な診断方法の開発を目指します。

研究方法: 通常の病理検査において希少がんの診断に至った方や診断困難で明確な診断に至らなかった方の検体を利用します。生検、手術などで摘出、保管されている検体に対し、組織免疫染色法、蛍光 in situ ハイブリダイゼーションによる融合遺伝子や遺伝子増幅の顕微鏡下での可視化、遺伝子パネル検査などの DNA/RNA 解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別、検体採取部位、腫瘍細胞割合等

試料: 生検、手術などで摘出された残余組織等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 研究所 ゲノム病理ユニット 久木田洋児

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上